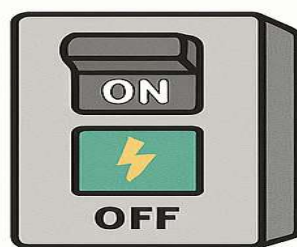


回覧！

通電火災を防ぐために 感震ブレーカー 設置状況を確認します



設置状況について自治会で調査を行います。

通電火災とは

大規模な地震などに伴う停電が復旧し、通電が再開されるときに発生する火災のことを言います。

この火災の本当の怖さは、地震発生とともに出火するのではなく、避難し無人となった屋内から時間差で出火するところにあります。これにより初期消火ができず、あっという間に火災が拡大してしまいます。

なぜ 感震ブレーカーが必要な？

地震発生時、電気が通ったままだと火災の原因になることがあります。

感震ブレーカーは、地震の揺れを感知して自動的に電気を遮断し、
通電火災を防ぎます。

特に高齢者世帯や避難が難しい方にとって、非常に有効な対策です。



東海岸北三丁目 自治会では2017年より設置実施を行っていましたが、
パンデミック（コロナ）での中断を経て、2026年より設置を再開いたします。
つきましては、現状の設置状況把握にご協力ください。

別紙「感震ブレーカー設置調査表」に各ご家庭でのご記入をお願いします。

下記の「設置調査表QR」からの回答も行えます。



設置調査表QR

☐ 組長さんは回覧回収後、なるべく早く記入の終わった調査表を
担当役員か、お近くの役員のポストに投函をお願いいたします。

東海岸北三丁目 自治会
会長 米井 博之